

震災救助訓練

松山市消防局は、平成24年7月29日（日）と8月5日（日）の2日間、松山市土居田町1番地、松山市雄新中学校校舎建て替えに伴う解体建物を活用して、震災対応救助訓練を行います。

この訓練は、地震により座屈した建物を想定、鉄筋コンクリート造の解体建物を活用することで、実践的救助活動を体感するとともに、高度救助隊と消防隊の連携活動や救助技術の向上を図ることを目的とするものです。

1 日時

- (1) 平成24年7月29日（日）午前10時00分～12時00分
- (2) 平成24年8月 5日（日）午前10時00分～12時00分

2 実施場所

松山市土居田町1番地 松山市雄新中学校解体現場

3 参加人員

- (1) 平成24年7月29日（日）中央消防署1部当務者
高度救助隊 4名 消防隊 3名から6名
- (2) 平成24年8月 5日（日）中央消防署2部当務者
高度救助隊 4名 消防隊 3名から6名

4 訓練想定

愛媛県中予地域においてマグニチュード8.0の大規模な地震が発生し、愛媛県中予地域で震度6強以上を観測し、広範囲に甚大な災害が発生。

松山市土居田町のビル座屈現場で火災が発生、逃げ遅れた被災者を救出するほか、瓦礫等の下敷きになった被災者を救出する。

5 救出訓練内容

(1) 震災火災救助訓練（連携訓練）

4階建て建物の1階部分が座屈し建物内から出火、各階に要救助者を想定、消防隊と連携し救出訓練を実施する。

ア 屋外からの救出訓練、屋外から建物の安定を確認後、煙に追われる要救助者に援護注水を実施しながら三連梯子を活用し救出する。

イ 屋内進入し救出訓練、建物開口部に救助用支柱器具（レスキューサポートシステム）を設定、進入及び脱出口を確保し屋内進入後、煙の漂う室内に瓦礫の下敷きになった要救助者を発見、消防隊と救助隊が連携し救出する。（消防隊の消火及び排煙注水・救助隊の瓦礫排除、救出活動）

(2) 座屈建物に対する破壊、突孔訓練（開口部設定訓練）

(3) 狭隘空間からの救出訓練

(4) その他（高度救助資機材・破壊器具取扱い訓練）

※（2）から（4）については、解体建物の状態により実施